

みやぎ高度電子機械
産業振興協議会

みやぎ高度電子機械産業振興協議会

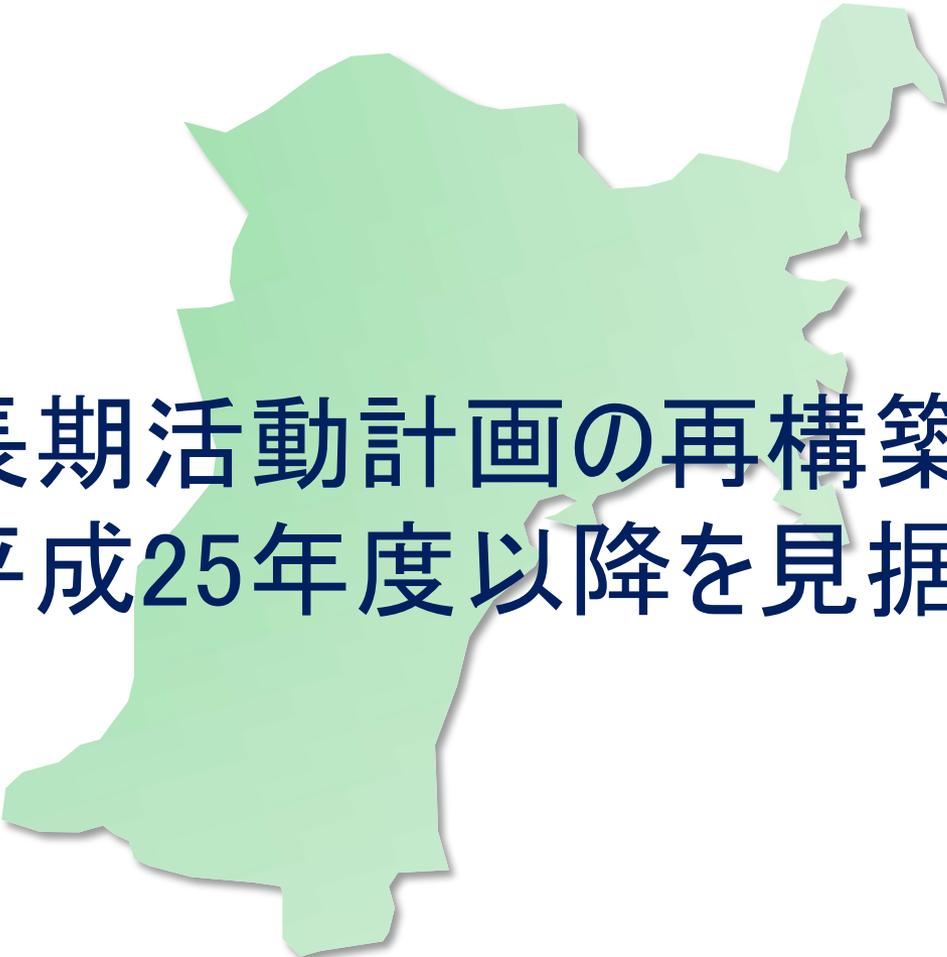
これからの協議会事業及び 平成25年度事業計画

平成25年6月11日

みやぎ高度電子機械産業振興協議会 平成25年度 総会

目次

- 1 中長期活動計画の再構築～平成25年度以降を見据えて～
- 2 平成25年度以降の協議会（案）について
【目的・活動方針等／事業メニュー／体制】
- 3 平成25年度事業計画（案）について

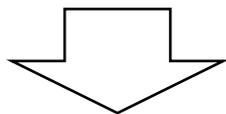


1 中長期活動計画の再構築 ～平成25年度以降を見据えて～

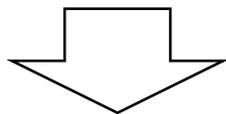
1-1 中長期活動計画の再構築

【平成24年度総会資料より抜粋】

- ◆ 本協議会は、本来、『平成25年3月31日』をもって5年間の活動終了
⇒ 高度電子機械産業は東日本大震災からの復旧・復興にあたって、
県内産業のけん引役として期待されている
⇒ 新たな成長分野に対する参画の可能性を大いに秘めている ……etc



- ◆ 一方、これまで通りの仕組み・体制等のままでは、過去4年間の活動の延長線しかかなり得ず、協議会活動に対する期待・魅力が薄れかねない。
※会員が求めるもの＝「自分のビジネスチャンス」になるもの
⇒ 重点4分野・目標・体制等の検証・見直し



震災により痛手を受けた会員企業の回復等に対し最優先で取り組みながら、平成25年度以降の本協議会のあり方について、幹事会を中心に検討・調整を図っていく。

1-2 協議会活動の目標・成果【平成20～24年度】

◆目標(目指すべき方向性)

「産産連携・産学連携を基礎とした高成長・高付加価値市場への参入」

◆重点分野

「半導体等製造装置」「医療・健康機器」「エネルギーデバイス」「航空機」

◆活動実績

セミナー・講演会・研究会	62回	参加者数 3639人
展示会出展支援	31回	商談実施 394件
ビジネスマッチング等	29回	商談実施 238件
企業ガイドの作成	10000部	

◆成果

- 「市場理解」の推進
- 産産連携・産学連携による製品開発
- 新分野への参入実現
- 共同受注体の形成

◆今後の課題等

- 重点分野「製造品出荷額up」は未達成
リーマンショック, 円高, 震災等の外的な要因

- 「市場参入」に向け, 社会情勢・経済情勢, 地域の動向に即した取組みへ



2 平成25年度以降の協議会(案)について



2-1 見直しのポイント

市場・技術研究会の画一化した取組から、重点分野の動向・特性を踏まえた取組への転換を図る。

①目的、活動方針等の再整理

⇒社会・経済情勢、地域の動向に即した目的・活動方針等への転換

⇒ビジネスマッチングの対象企業を国内から海外まで拡大

②事業の見直し（協議会事業・研究会事業の再構築）

⇒連携構築事業（市場・技術セミナー等）及び取引創出・拡大事業（展示会出展支援等）の継続

⇒プロジェクト支援事業の展開による、取引創出・拡大及び技術・開発等の取組みを支援・けん引

③体制の見直し

⇒市場・技術研究会の発展的解消（→テーマを踏まえたフレキシブルな対応）

⇒高度電子機械産業振興コーディネーターの配置

⇒学術研究機関及び産業支援機関との連携強化

2-2 目的・活動方針

【目的】

富県宮城の実現に向けた、地域の一体的取組による高度電子機械産業の活性化

【背景】

- ① 大手電機・電子部品メーカーとの関係で培ってきた精密部品加工技術基盤の存在



- ② 東北大学をはじめとする次世代技術シーズと産学連携環境の充実



- ③ 地域企業の新市場への参入意欲の向上



活動方針

高成長・高付加価値市場への参入を実現する
地域中核企業の創出・育成を目指す



【狙い】

- ① 高度電子機械産業の振興に向けた会員の意識醸成
- ② 相互理解、連携交流の促進による会員ネットワークの構築・強化
- ③ 高成長・高付加価値市場への参入の実現及び関連企業の集積促進
- ④ 地域連携(産産連携・産学連携)、技術高度化、研究開発の推進
- ⑤ 宮城を中核とした東北地域における高度電子機械産業の振興・発展[広域連携]

2-3 ターゲット市場・重点分野

【ターゲット市場】

電子部品・電気機械分野（＝高度電子機械産業）及びその高度電子機械産業から生み出される部品・モジュールを活用した製品を生産する機械・装置・設備及び精密加工分野に関する市場

■重点分野

- 半導体・エネルギー
- 医療・健康機器
- 航空機

※ これまでの重点4分野を踏襲しつつ、各分野の市場・技術動向等を踏まえた「アプローチ」と「強弱」をつけた取組みを推進する。

※ 自動車関連分野は、「みやぎ自動車産業振興協議会」が主体となり、連携を図りながら推進する。

2-4 目標【平成25～27年度】

基盤事業

取組目標

- ・ 会員満足度※ 70%
- ・ 商談件数（展示会での商談実施、
ビジネスマッチング） 150件
- ・ アドバイザー派遣 150回



商談成立件数 15件以上

成果目標

プロジェクト支援事業

取組目標

- ・ プロジェクト件数
8件(H25-4件, H26-2件, H27-2件)
- ・ コーディネーター訪問件数 300件



事業化件数 4件以上

目指すべき姿

- ①取引創出・拡大 ②技術高度化 ③ネットワーク構築 ④市場理解の推進



富県宮城の実現に向けた、地域の一体的な取組による高度電子機械産業の活性化

(参考)

（仮称）産業再生アクションプラン(25FY-27FY) [県で策定中]

＜県内企業の生産状況に関する目指すべき姿＞

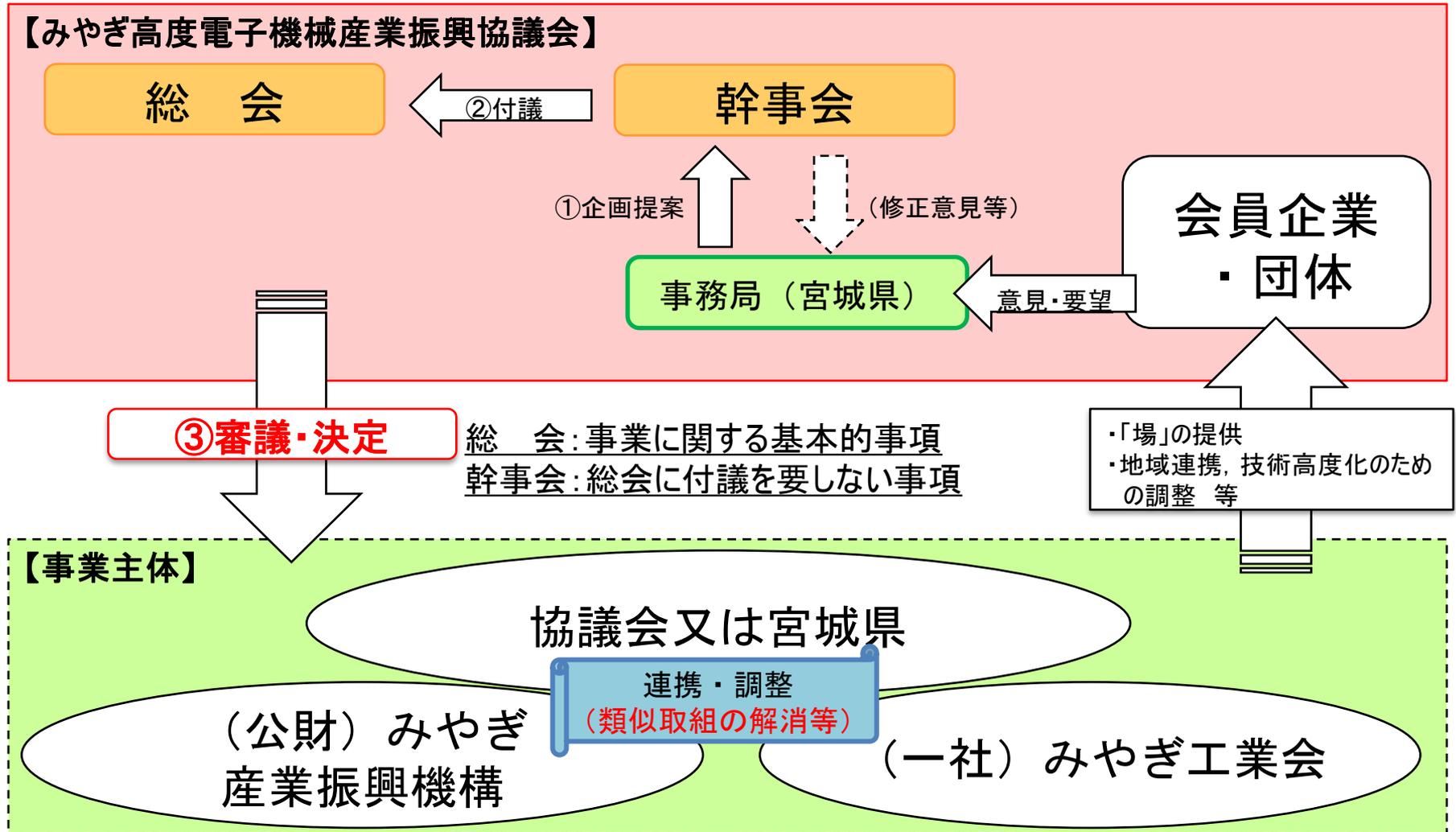
沿岸部における被災事業者の復旧と販路の回復、技術開発力の向上を支援することにより、地域企業の競争力の強化や販売力等の向上を実現し、製造品出荷額等が震災前の水準に回復している。

※ 会員満足度は、アンケート調査で把握

2-5 事業メニュー

	基盤事業	プロジェクト支援事業
目的	市場理解, 技術高度化, 取引創出・拡大, ネットワーク構築	取引創出・拡大, 技術開発等を支援・けん引
事業内容	<p>①連携構築事業 講演会, セミナー, 経営者交流会</p> <p>②取引創出・拡大事業 ビジネスマッチング(オープン), 展示会出展等</p> <p>③情報発信事業 ホームページ, 電子メール発信, 企業紹介資料作成 ⇒場の提供(きっかけづくり)</p> 	<p>①ビジネスマッチング支援 川下企業との取引創出・拡大支援</p> <p>②産学連携支援 大学シーズを活用した事業化支援</p> <p>③課題解決支援 技術, 販路, 協業, 開発資金などの課題解決・事業化支援 ⇒早期の取引実現・技術開発に向けた特定支援</p> 
対象	全会員	有志会員
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・連携構築及び取引・創出拡大事業の実施 ・市場に関する情報収集及び会員への情報提供 ・効果的な情報発信, 県内企業の紹介 ・市場参入等に向けた指導・助言(アドバイザー派遣) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトの運営・調整 ・競争的資金獲得に向けた情報収集・支援 ・技術支援, 関係機関との調整 ・市場参入等に向けた指導・助言(アドバイザー派遣)
進め方	事務局が企画・立案し, 会員へ募集・提案を行い, 希望する会員が参加する	事務局が提案又は募集によりプロジェクトを組成し, 参加会員の意向等を踏まえながら運営を支援する
費用	原則無料(交流会・展示会等一部負担あり)	自己資金+外部資金活用 等

2-6 組織体制



2-7 事務局体制

メンバー	人数	役割
参与(高度電子機械産業集積担当)	1名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体総括／協議会活動との調整 清水 栄一 氏 (ソニー(株)出身)
高度電子機械産業振興コーディネーター	2名 <small>1名調整中</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各プロジェクト事業の運営・調整 ■ 競争的資金の獲得に向けた情報収集・支援 等 八嶋 茂 氏(東北リコー(株)出身)
産業技術総合センター担当職員	適時	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術支援, 関係機関との調整 ■ 競争的資金の獲得に向けた情報収集・支援 等
高度電子機械産業振興アドバイザー	3名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市場参入に向けた指導・助言 【半導体・エネルギー】 佐々木 孝治 氏 (ソニー(株)出身) 【医療・健康機器】 松下 勇 氏 (TOHOKUものづくり コリドー地域連携マネージャー) 【航空機】 鈴木 一正 氏 (株IHI出身)
新産業振興課	—	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協議会運営事務

支援・金融・学術
研究機関との連携

(公財)みやぎ産業振興機構 (一社)東北経済連合会 (公財)東北活性化研究センター
(公財)仙台市産業振興事業団 (一社)みやぎ工業会 東北大学+地元大学
復興大学, KCみやぎ推進ネットワーク など



3 平成25年度事業計画(案)について



3-1 基盤事業①

①総会・講演会

月日	平成25年6月11日(火) 14:00～19:00
場所	仙台国際センター(仙台市青葉区)
内容	(1) 総会 平成24年度事業実績, これからの協議会事業及び平成25年度事業計画(案) (2) 講演会 講演Ⅰ『宮城新工場とその戦略～これからの航空機市場に求められるもの～』 講師:株式会社ジャムコ エアロマニュファクチャリング 計画課 課長 神谷 敬吾 氏 講演Ⅱ『産総研におけるエネルギー技術への取組みと中小企業との連携』 講師:独立行政法人 産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 副研究部門長 宗像 鉄雄 氏 (3) 交流会

②市場・技術セミナー

月日	平成25年度中
場所	仙台市内 他
内容	重点分野及び新産業分野における取引創出・拡大の糸口となるような市場及び技術動向に関するもの[数回予定]

3-2 基盤事業②

③ 展示会出展支援

※出展対象展示会は、今後追加・変更となる可能性有り

名称	日時／開催場所	対象
国際フロンティア産業メッセ2013	09/05(木)～06(金)／神戸国際展示場	協議会
東京国際航空宇宙産業展2013	10/02(水)～04(金)／東京国際展示場	航空機
メディカルクリエーションふくしま2013	10/30(水)～31(木)／ビッグパレットふくしま	医療・健康機器
ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア2013	11/06(水)～07(木)／ビッグパレットふくしま	エネルギー
メッセナゴヤ2013	11/13(水)～16(土)／ポートメッセなごや	協議会
セミコン・ジャパン2013	12/04(水)～06(金)／幕張メッセ	半導体
国際太陽電池展	02/26(水)～28(金)／東京国際展示場	エネルギー

※ 継続的な聞き取り調査によるフォローアップの実施

④ ビジネスマッチング(オープン)

川下企業の選定に向けた情報収集⇒川下企業のニーズに対応したマッチングの実施

3-3 プロジェクト支援事業

支援メニュー	ビジネスマッチング (事務局提案型)	産学連携 (事務局提案型)	課題解決 (会員提案型)
目的	川下企業との取引創出・拡大の支援	大学等のシーズを活用した事業化の支援	地域の高度電子機械産業への波及効果が見込まれる事業化の促進
訪問ターゲット	川下企業(研究開発部門, 資材調達部門, 生産技術部門等)	大学(工, 医工, 病院)等, 会員	会員
支援対象会員	川下企業のニーズに対応可能で参入意欲のある会員	産学連携による事業化を目指す会員	事業化シナリオの実現に必要な支援課題が明確な会員
支援メニュー (事務局の役割)	<ul style="list-style-type: none"> 川下企業のニーズ取得・把握 会員への情報提供・提案 マッチングの実施に係る調整 	<ul style="list-style-type: none"> 大学等のシーズ・ニーズ取得・把握 会員への情報提供・提供 参画メンバーの調整 	<ul style="list-style-type: none"> 支援テーマの把握 技術支援 産産(協業企業の探索・紹介含む)・産学コーディネート 競争的資金の獲得支援
PJ展開 のイメージ	<ol style="list-style-type: none"> 事務局による川下企業訪問 マッチングの実施に向けた戦略及び計画の決定 ビジネスマッチングの実現 課題整理及び対応方針の決定 	<ol style="list-style-type: none"> 大学シーズ・ニーズの探索 会員への情報提供 テーマ設定と参画メンバーの調整 課題整理及び対応方針の決定 	<ol style="list-style-type: none"> 一定の条件下でのテーマ募集 支援テーマの決定 課題解決に向けたコーディネート・技術・資金獲得支援

3-4 平成25年度スケジュール(案)

開催月	基盤事業(セミナー等○/展示会◇/企業ガイド)	プロジェクト支援事業
H25.04	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 情報収集・整理(企業・大学・産業支援機関等) </div>	プロジェクト事業候補の調査・募集
H25.05		
H25.06	○総会/講演会/交流会 企業ガイド作成 ○第1回セミナー【医】	プロジェクト事業テーマ決定 ← 事業運営・調整
H25.07		テーマは6月以降
H25.08		随時決定
H25.09	企業ガイド完成 ◇国際フロンティア産業メッセ2013	
H25.10	○第2回セミナー【航, 他】 ◇東京国際航空宇宙産業展2013 ◇メディカルクリエーションふくしま2013	次年度予算等 の情報収集
H25.11	◇再生可能エネルギー産業フェア2013 ◇メッセナゴヤ2013	
H25.12	◇セミコン・ジャパン2013	
H26.01		
H26.02	○第3回セミナー【半・工, 医】 ◇国際太陽電池展	
H26.03		